

パチンコは、  
適度に楽しむ  
遊びです。



パチンコ依存は、  
誰にでも起りうる問題です。  
誰にでも起りうる問題です。  
誰にでも起りうる問題です。

もし、ひとりで悩まなくても、  
あなたのそばには、もう「助け」を  
求めています。お電話ください。

相談窓口  
050-3541-6420  
※1日24時間受付(平日9:00~午後4:00)

ホームページ  
http://rsn-sakura.jp/

- パチンコをするための方法を学ぶ
- 夢や希望を叶える方法を学ぶ
- 借金や借金の返済方法を学ぶ
- 借金や借金の返済方法を学ぶ
- パチンコをするために必要な知識を学ぶ
- パチンコをするために必要な知識を学ぶ
- パチンコをするために必要な知識を学ぶ

ばちんこ依存問題相談機関  
特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワーク

リカバリーサポート・ネットワークは、ばちんこ依存問題からの回復を支援する民間相談機関です。相談窓口は全国に設置しています。相談窓口は全国に設置しています。相談窓口は全国に設置しています。

※パチンコパチスロの産業計量協会(加盟4団体)  
※パチンコパチスロの産業計量協会(加盟4団体)  
※パチンコパチスロの産業計量協会(加盟4団体)

# リカバリーサポート・ネットワークのポスターを見て 相談してみたいと思っただことはありませんか？

本誌でも毎月掲載しているこのポスター。最近ではホールで見かける機会が非常に多いと思われる。事実、下のアンケート調査結果にあるように、弱めのホールで掲示しているのでも自づと当然だ。では、このポスターを見たとき、何を思うだろうか？ 自分とは関係ないことかと思っただけか？ 実はずいぶん、一度電話してみたいと思っただけか？

貼るくらいならホールを取り締まれ、パチンコホールをなくせ！という人や「依存している人がいるから経営が成り立っているのに、店にこんなものを貼っているのはおかしい。矛盾しているとは思わないのか」という人もいます。賛否両論、様々な意見がある中、「啓発ポスターをホール従業員から教えてもらった。従業員から心配されて、一度相談してみてもどうかと言われて電話した。従業員から紹介されたので驚いたがホールの取り組みには感心した」という人や「パチンコがやめられないなんて誰にも相談できないが、ここなら誰にも知らず相談できるというので安心して相談できた。トイレでこっそり携帯電話に番号を登録しておいて、あとで電話しました」という人もいます。

このポスターを見て実際に相談している人が少なからずいるということをおぼろげに知ってほしい。

# パチンコ健康通信

このコーナーでは「パチンコ(パチスロを含む)と健康」の結びつきと、その関係を強めるために業界全体およびホール、メーカーなどが取り組んでいる活動を紹介していきます。今回は依存問題に苦しむ人向けにホールで掲示されている啓発ポスターを見た人が実際に相談してきているのか、その実態を報告します。

総合編集 = 町屋ルーム

株式会社ガイドワークス提供

総合監修 = 篠原菊紀教授

10年以上に渡り、パチンコと賭、そして健康についての研究を行ってきた第一人者。東京大学大学院教育学研究科博士課程を経て、理法東京理科大学共通教育センター教授(脳神経科学、応用健康科学)、学生相談室長、東京理科大学総合研究機構兼任教授、「ためてガッテン」(NHK)、「クローズアップ現代」(NHK)、「はなまるマーケット」(TBS)などのテレビ番組、ラジオ番組、雑誌、新聞など、さまざまなメディア出演。パチンコ関連の協会、メーカーなどでの講演多数。著書に「脳の仕組みを利用して賢くやせる! 脳トレダイエット(FUTSAL NAVI SERIES22)」(白泉社)など

パチンコと健康を考える第一人者

全日本遊技事業協同組合連合会のアンケート調査より

組合員ホール数	11,108	75.4%
回答ホール数	8,376	

※調査期間平成25年3月18日~7月5日 ※「組合員ホール数」は休業店を除く。

●貴店では、ばちんこ依存問題相談機関 RSN の相談窓口告知ポスターを店内に掲示していますか。

	店舗数	提示率
掲示している	7,399	88.3%
掲示していない	977	

●ポスターを店内のどこに掲示していますか。(複数回答可)

場所	店舗数	提示率	備考
店舗トイレ	4,603	62.2%	
店舗内(トイレ)以外	2,847	38.5%	
店舗入口	2,639	35.7%	
その他	902	11.2%	・休憩所 383 ・カウンター(景品・会員入会) 145 ・電話ボックス 64

## パチンコ依存診断

- 自分がパチンコで遊びすぎたと思う方はチェックしてみてください。
- 01 □ 今までに、パチンコで負けたとき、負け分を取り戻そうと、またパチンコをしたことがある
  - 02 □ 今までに、自分に賭け事やパチンコの問題があると思ったことがあるが、その問題を人に指摘されたことがある
  - 03 □ 今までに、お金の使い方について、同居していた人と口論になった原因が、主にパチンコであったことがある
  - 04 □ 今までに、誰かからお金を借りたのに、パチンコのために返せなくなったことがある
  - 05 □ 今までに、パチンコのためか、パチンコの借金を返すために、家計からお金を借りたことがある
  - 06 □ 今までに、パチンコのためか、パチンコの借金を返すために、サラ金・ヤミ金からお金を借りたことがある
  - 07 □ 今までに、パチンコのためか、パチンコの借金を返すために、銀行・ローン会社からお金を借りたことがある

※当金庫のバックナンバーはガイドワークス公式HP (guideworks.co.jp) で閲覧できます  
※ページ内の表は特別非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワーク発行「2012年度ばちんこ依存問題相談事業報告書」並びに「さくら通信 77号」より抜粋活用しています

# ポスターを見た本人が相談する例は確実に増えている

左下の表を見ていただければわかるように、ポスターを見て相談してきた件数が昨年度、一気に増えている。その件についてRSN代表である西村氏に話を聞いた。

「昨年の8月に業界団体が広報活動に力を入れたことでホール内掲示の数が一気に増えて、その結果、9月や10月の相談件数が250件から350件近くに増えました」

「昨年の7月に取材させていたたいたときは(パチンコ健康通信0008号参照)、月に1000件程度だったことを考えると、一気に倍以上増えたということになる。こういうものは最初のインパクトで増えることがあっても、その後には落ち込むことが多いのですが、この相談件数に関しては同じくらいの数字を推移しています。ホールが継続的に貼ってくれているというのは大きいでしょう」

「ホール内ポスター経由での件数が増えたことで、どのような人物からの相談が増えたのだろうか?」「負けた人がホールから直接電話してきてクレームや愚痴を言うという件数が増えるのは仕方ないとして、パチンコの問題を抱えている本人からの相談が増えました。例えば20代や30代の若い人は、ネットで調べて携帯から電話したりメールしたりと、すぐに相談できますけど、40代や50代の人はそれがなかなかできない。そんな、このポスターがなかったら、どこにも相談できてないだろうなという方からの電話が増えてます」

「以前の取材で西村氏は「相談しよう」と本人が電話をかけてきたなら、それだけで問題解決の第一歩を踏み出しているということ」と述べている。一歩、踏み出している人が増えているということは非常に望ましい状況であろう。

「電話してきた人に対してRSNでは「相談員と話していく中で問題部分を自覚していき、それを修正する方法をこちらから一方的に教えるのではなく、一緒に考えていく」という手段を採る。そして、その人その人の問題を解決するのに見合った機関を紹介する。」

「パチンコ依存問題に関するセーフティネットワークの入口にあるのがRSNなのである。」



リカリハビリサポート・ネットワーク代表 西村直之氏

精神科医。1965年生。1990年琉球大学医学部卒。医療法人昭明会承清精神科院アルコール病棟、国立肥前療養所(アルコール・薬物依存病棟)などの勤務を経て、1999年より医療法人卯の倉あらかきクリニック院長に就任。薬物依存回復支援施設ダルクの支援など。依存症回復支援にも取り組む一方、2006年4月にリカリハビリサポート・ネットワークを立ち上げ、代表を務める。総合大学矯正・保護研究センター研究員。厚生労働省道徳研究の研究員(1998年~2002年)は「薬物依存」、2007年~現在は「いわゆるギャンブル依存の実態と地域ケアの促進」

	2011年度	2012年度	総計*
ホール内ポスター	529 (78)	1036 (61)	3605 (69)
新聞	10 (1)	5 (0)	142 (3)
インターネット	66 (10)	187 (11)	549 (11)
TV	5 (1)	2 (0)	39 (1)
雑誌	1 (0)	106 (6)	118 (2)
他の相談機関	10 (1)	10 (1)	70 (1)
その他	27 (4)	243 (14)	451 (9)
不明・拒否	31 (5)	121 (7)	228 (4)
総計	679 (100)	1710 (100)	5202 (100)

(※2006年度~2012年度)

	2011年度	2012年度	総計*
精神科医療センター	45	124	532
道徳精神科医療センター	16	19	118
司法書士	2	0	32
弁護士	0	0	0
クレーマの会	0	0	4
福祉事務所	4	13	30
保健所	5	18	30
消費生活センター	0	8	22
ワンダーボート	4	19	92
医療機関(生体医療しんむ)	124	290	789
ギャンブラーズ・アソシエーション	196	422	1954
チャマン	1	0	7
その他のステップグループ	0	0	7
その他	33	103	282
紹介先なし	262	790	1746

(※2006年度~2012年度) (※2006年度~2012年度)

順位	2011年度	2012年度	総計*
1位	愛知 40	東京 111	神奈川県 268
2位	神奈川県 38	大阪 82	東京 231
3位	埼玉 36	神奈川県 68	大阪 197
4位	広島 33	埼玉 52	埼玉 195
5位	東京 27	静岡 49	福岡 175
6位	長野 27	千葉 43	兵庫 173
7位	福岡 25	福岡 43	静岡 169
8位	沖縄 25	愛知 40	広島 169
9位	北海道 21	兵庫 35	北海道 130
10位	静岡 20	長崎 31	愛知 126
	兵庫 20		

(※2006年度~2012年度)

	2011年度	2012年度	総計*
本人	679 (76)	1710 (83)	5202 (70)
家族・友人	205 (23)	339 (16)	2122 (29)
ホール関係者	1 (0)	2 (0)	7 (0)
援助者	8 (1)	14 (1)	54 (1)
不明・拒否	0 (0)	0 (0)	10 (0)
総計	893 (100)	2065 (100)	7395 (100)

(※2006年度~2012年度)



**A** 「コーヒー自体は血管を柔らかくしたり、中枢神経の疲労回復の効果がありますが、タバコを組み合わせると胃壁が傷みます」

「コーヒーとタバコの組み合わせは止めましょう。タバコは胃粘膜の血流を阻害し、粘膜が持つ防御機能を弱めてしまいます。そこへコーヒーによって胃液が大量に分泌されれば、胃壁へのダメージが大きくなります」(根本賢一先生)



**Q** 「ハマったときも当たったときも、つつい缶コーヒーを片手にタバコを一服。これってやっぱり身体に良くないですよね?」

「コーヒー自体はポリフェノールにより血管を柔らかくする効果がありますが、缶コーヒーは糖分が多く、飲みすぎると糖尿病の危険性が高まってしまいます(篠原先生)とのこと。しかもタバコと組み合わせるとかなり良くない様子。」

健康Q&A